

実践・人的資本可視化への実務対応

～ 有価証券報告書への具合的な記載内容・方法と「投資家視点」の本質～
～ 講座終了後ご希望の方には、個別のフォローアップ付～

日時

2023年10月16日(月) 10:00～16:00 (5H)

参加方法

■会場参加：日本経営協会内専用教室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8

■オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師

株式会社ターンアラウンド研究所 共同代表 主席研究員
公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト
国際公認投資アナリスト

こ しょうじ
寺 昇二 氏

対象

人事・IR・経営企画・HRBP・CHROの方々



主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

上場企業における人的資本の開示義務は2023年3月期決算企業から適用されました。しかし、1年目でもあり、また各企業に委ねられた対応方針等から、何をどのように書けばよいか、半信半疑ながら有価証券報告書に記載されていることも多いかと存じます。

人的資本開示の対象先は、まずは「投資家」です。証券アナリスト資格を保有している経営人事の専門家である小寺講師から、人的資本への投資が必要とされる背景と、投資家目線での開示の方法をお伝えします。

人的資本開示の重要性だけでなく、ケーススタディにより、経営的な重要性を「実務」に落とし込みます。受講後は、社内外に自信をもって人的資本の開示に臨んでいただけるようになります。

(自社の有価証券報告書、人事戦略をお手元にご用意いただくと、より具体的な成果を得られます。)

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

◇日本経営協会会員(1名)：33,000円(税込)

◇一般 (1名)：40,700円(税込)

■受講お申込み方法

下記「お申込みの流れ」を参照いただき、お申込みは開催日の5営業日前までをお願いいたします。

【WEBからのお申込み方法】

- 1 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp> から
- 2 「セミナー／講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力下さい。
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書、参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までをお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■オンライン参加について

【セミナーで使用使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付する予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合もございます。当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途担当からメールにてご派遣責任者(連絡担当者)宛てご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ・オンライン開発グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomを用いて、会場の研修の様子をライブ中継いたします。Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>
セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。ただし、オンライン参加の場合は、セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。(セミナー1週間前程度から発送開始)

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

実践・人的資本可視化への実務対応

プログラム内容

1. 人的資本可視化の意義

- (1) 人的資本可視化対応が難しく感じられる理由
- (2) 「投資家視点」という可視化の本質が今注目される理由
- (3) 最低限の義務とプラスアルファ（アピール分）の分類

2. 過去に政府から出された資料等の概要

- (1) 伊藤レポート、指針、可視化ガイドラインなどの概要、位置づけ
- (2) ISO、ガバナンスコードなどの概要、位置づけ
- (3) それぞれの活用方法

3. 金融庁から公表された資料の解説

【個人ワーク】

- (1) 有価証券報告書への記載方法と具体的な内容
- (2) 「人材育成方針」「社内環境整備方針」と戦略人事、ウェルビーイング
- (3) ストーリー（ナラティブ）と指標・KPI設定の留意点

4. 実践・人的資本の可視化

【ケーススタディ】 【個人ワーク】

- (1) **ワーク1**
最低限の有価証券報告書への記載とその評価
※具体的な記述の方法、有価証券報告上の記載場所の理解

(2) **ワーク2** **ワーク3**

「好事例」記載についての考察、解説

※開示済み「有価証券報告書」がある方は、お手元にご用意いただくと、より具体的なワークができます。未開示、未作成の方は、「経営戦略」をお手元にご用意いただくと、ワークが充実します

(3) **ワーク1** **ワーク2** **ワーク3** の総合解説

「義務」、「アピール」、「統合報告書」

・・・3つのレベルの違い

※「人的資本経営」の推進が見えるケースから、理解を深めます

5. 開示に関する今後の継続的な対応

- (1) 内部的な留意点：データ収集と継続性、社内の連携体制の構築
- (2) 投資家とのコミュニケーション
- (3) 今後の「人的資本経営」のポイント（新たな「HR3.0」を展望して）

6. 全体の質疑応答（30分）

（人的資本経営に関する最新情報も参加特典プレゼントいたします）

～講義プログラムの全工程は16時00分に終了～

その後、任意で個別の質疑応答に回答します

※1社5分程度とさせていただきます、最大16時30分までとさせていただきます

※お時間の都合等が合わない場合、連絡先を交換させていただきます、後日場を設けさせていただきます

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。

講師プロフィール

株式会社ターンアラウンド研究所 共同代表 主席研究員

公益社団法人日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト

こてら しょうじ

小寺 昇二氏

1979年東京大学経済学部卒業後、第一生命入社。企業分析、ファンドマネジャー、金融/保険商品開発、などを経験。2000年以降、外資系金融機関（常務執行役員）、CSRコンサルティング会社、プロ野球球団経営企画室長、ITベンチャー（取締役CFO）、金融ベンチャー（執行役員）、旅行会社などを経験。42年のキャリアの中で、会社内に存在するあらゆる業務を経験。常にキャリア開発、教育、人材育成について実践を通して学び続けており、講演、研修実施は多数。

2015年より埼玉工業大学教授、現在、埼玉工業大学非常勤講師。

【主な著書・執筆】

「実践スポーツビジネスマネジメント～劇的に収益性を高めるターンアラウンドモデル～

（2009年、日本経済新聞出版）、「徹底研究！！GAFAs」（2018年 洋泉社MOOK 共著）など。

人的資本の可視化について、HRプロで連載しています→



左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。